

**第24期**  
**2025年12月期 第1四半期について**

**株式会社 富士山マガジンサービス**

東証グロース：3138

## 2025年12月期 1Q実績

- 第1の矢（富士山マガジンサービス）はクレジットカードの本人確認の厳格化等により収益悪化
- 第2の矢（株式会社magaport）は引き続き堅調推移
- 第3の矢（EdTech事業）は、大阪のクリエイイト研究会のM&A費用により赤字化



### 連結

| 単位：百万円 | 2023年12月期<br>1Q | 2024年12月期<br>1Q | 2025年12月期<br>1Q |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 取扱高    | 3,244           | 3,364           | 3,038           |
| 売上高    | 1,452           | 1,413           | 1,421           |
| FMS    | 845             | 881             | 812             |
| グループ以外 | 607             | 532             | 609             |
| 営業利益   | 72              | 127             | 23              |
| FMS    | 56              | 113             | 31              |
| グループ以外 | 16              | 14              | -7.8            |

2025年12月期 2Q業績予想

売上高2,658百万円、営業損益115百万円

## 2025年12月期 1Q トピックス

---

### ■ 「総括」

- 2024年12月期 1Qと比較すると、大きく業績は悪化
  - 但し、EdTech事業のM&A費用が無ければ営業利益ベースでは50百万円弱での着地
  - 第2の矢は成長率は鈍化するも引き続き、堅調推移  
※第2の矢は株式会社電通と合併事業のため、第2の矢の貢献度が上がると、連結当期純利益は悪化する傾向（少数株主持分が増加するため）
  - 第3の矢（EdTech事業）は卒業により、大幅に業績悪化となる1Qを通過
- 

### ■ 1Qの主な活動状況

- EdTech事業において、英語、英検に強い「ミリカ予備校」を買収
- EdTech事業は、生徒数350弱、校舎数4拠点の規模まで成長

## 2025年5月に発表した株主優待制度の追加について

---

### ■ 既存の株主向け還元策

- 1株16円または配当性向30%のいずれか高い方を配当として分配
  - 雑誌定期購読に使える割引クーポン
  - EdTech事業で使える入会金無料クーポン（翔進予備校・Academiaのみ）
- 

### ■ 2025年5月13日 適時開示

- デジタルギフト25,000円の提供（500株以上保有の株主）

| 対象株主(保有株式数)               | 優待内容                 |
|---------------------------|----------------------|
| 毎年12月31日現在の株主<br>(500株以上) | デジタルギフト<br>25,000 円分 |

**足下の業績、市場環境を鑑み、株主向けの還元策の強化を決定**

## 免責事項

---

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。